

B-14
K
11

新加坡著于備登錄制度集地  
的以登錄卡卡記一盤錄自

JICA  
000  
23.4  
EM  
LIBRARY

# 移住希望者予備登録制度実施 並びに登録カード記入要領

海外移住事業団

(実施要領)

## 1. 目的

事業団本部及び各地協(地方事務所)で移住相談をうけた移住希望者の実態を把握し、送出計画啓発活動等の基礎的資料とする。

(注)

現在、移住希望者の予備登録は、各地協の恣意にゆだねられており、その方法も不統一である。したがって、事業団本部においては地方毎に、或いは総合的になん人のどんな人(年齢・性別・学歴・職業等)が、何時どんな型態で、何国に移住を希望しているかに関するデータが皆無に近いのが現状である。

前述の諸要素は送出計画、啓発活動は勿論、事業団方針決定上の重要な基礎的資料と思考するので、地方事務所発足を前にして統一した方法によつて、実態を把握し、諸要素の抽出を容易ならしめんとするものである。

## 2. 実施期日

昭和39年4月1日以降の移住相談をうけた者について作成する。

JICA LIBRARY



1023691[3]

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 9. 14	000
登録No. 09572	234
	EM

### 3. 実施細目

#### (1) 登録カード

ホール・ソート・カード(別図1.)を使用する。

#### (2) カードの記入及び整理方法 ( )

- ・地協(地方事務所)では、相談をうけたもので移住意欲の高い希望者1人について、同一カード2枚を記入作成する。
- ・毎月末に締切り、その月の分をまとめて1枚を本部に送付する。
- ・本部は全地協(地方事務所)分をまとめてパンチする。
- ・本部においては、月別及び累計の諸統計を作成し、地協(地方事務所)その他関係各部に送付する。
- ・地協(地方事務所)に残した1部は、その地協(地方事務所)台帳として保有する。

#### (3) 本部における保管集計作表

当分の間、調査課が担当する。

#### (4) その他

地方におけるパンチ、分類、作表は予算の許す範囲において39年度から実施する。

(参考) ハンド・パンチ	1ケ×500=	500円
ハンド・ソーター	1組×300=	300円
ソーティングトレイ	1ケ×600=	600円
カード保管用キャビネット	1×4,200=	4,200円
1県当り経費 計		5,600円

〔登録カード記入要領〕

1. 全般的注意

- (1) このカードは、原則として移住相談担当者が移住希望者から各項を聴取のうえ記入するものとする。
- (2) ペン書きのこと。
- (3) おもて最上段の受付年月日、氏名、生年月日、性別、現住所、県名、の欄はそのまゝ本部で名簿として複写するので、特にていねいに記入のこと。

2. 各項目の記入について

おもて

- (1) 〳 (左上)。本部において記入する整理番号のため地協(地方事務所)では記入する必要なし。
- (2) 受付年月日。西暦で、〳.〳.〳のように略して書く。
- (3) 氏名。下に平仮名でふりがなをつける。
- (4) 性別。該当する方に〇をつける。
- (5) 生年月日。西暦で、1935.5.5のように書く。  
(略さない)
- (6) 現住所。例の如く書き、下にふりがなをつける。

例 都 区  
北海道 小樽市 塩谷町 325番地  
ほつかい 府 おたる 郡 しおや 村  
県

- (7) 県名。取扱い地協（地方事務所）名を都府県をつけずに記入。ただし、北海道はそのまゝ。
- (8) №（県名の下）。取扱い地協（地方事務所）の整理番号を受付順に当該地協（地方事務所）で記入。
- (9) 最終学歴。卒、中退、在学年次は西暦を用い、例の如く記入。

例 1960年新制北海道小中学校農学部農学科中退大在

- (10) 主要職歴。現職以前の主要なる経験職歴の各々の勤務先名、職種（営業部、販売課長等）在職年数を古い順に記入する。
- (11) 現職。 (10)と同じ要領（兼業のときは主要なもの1つ）。
- (12) 収入。受付時現在のすべての収入の概算を年収又は月収で。
- (13) 携行資金。移住する際、用意出来る携行資金の概算額。
- (14) 本籍。 (6)の現住所と同じ要領。
- (15) 外国在住の親族又は知人。住所はなるべく正確に欧文

で（不明ならば和文でもよい）、職業はなるべくくわしく。

(16) 希望移住地。入植したい移住地があれば、その名称（トマス等）。

(17) 希望時期。いつごろ移住したいか、およその時期。

(18) 外国経験。海外生活の経験があれば、その国名と経験年数。軍隊経験は軍と注記する。

(19) 移住を知った媒体、移住の動機。該当項目の後の番号に○をつける。それぞれ1項目に限らない。

(20) 県名コード（左下）。(6)現住所の県名と同じものに○をつける。

(21) 職業コード。(11)現職が該当するものに○をつける。

(22) 型態コード。移住する場合に、希望する型態に○をつける。

例 指名呼寄雇用農。右から3番目の欄  
農。工の農に○をつける。

なお、点線の下2欄のどちらかに○をつけ、上2欄にはつけないこと。

(23) 希望国コード。移住を希望する国名に○をつける。

(24) 学歴コード。(9)最終学歴に該当する項に○をつける。

う ら

(25) 家族構成。・本人を除いた家族を列記

- ・生年月日。・西暦で、959.1.1 のように書く。
- ・本人との続柄。本人が家長なら、妻、長男、二女等  
本人が三男等であれば、父、母、兄、妹等とかく。
- ・最終学歴。・〇〇学校卒（中退、在）と書くだけ  
でよい。
- ・主要職歴。・最も重要性のあつた職業及びその経  
験年数。
- ・同居・別居。・その家族が本人と同居しているか、  
別居しているか、該当する方に〇を  
つける。
- ・同行・残留。・本人が移住する場合に、一諸に行く  
か、残留するか、該当する方に〇を  
つける。

(26) 農業経営状況。・本人の現職が農業である場合に記入す  
る。単身者で、その実家で農業に従事  
する者は実家の状況を記入。該当する  
耕地又は所有地にその面積の概算を記  
入。

(27) 資産状況。・・当人の所有する資産の該当するものゝ  
およその見積価格。処分の項は移住す  
る場合、処分出来るか、出来ないか、

可否どちらかに○をつける。

(28) 取扱者氏名・職名。。移住相談を担当し、当該カードを作成した者の氏名と職名。

(29) 所見。。当カード作成の対称となつた者に対する担当者としての所見。

(30) 家族同意の有無。。本人の移住希望に対し、家族の同意があるか、ないか、どちらかに○をつける。

(31) 所見欄の余白。。以上30項目の外になお必要な項目があれば、所見の余白を適当に区切り、その用に供されたい。

以 上

